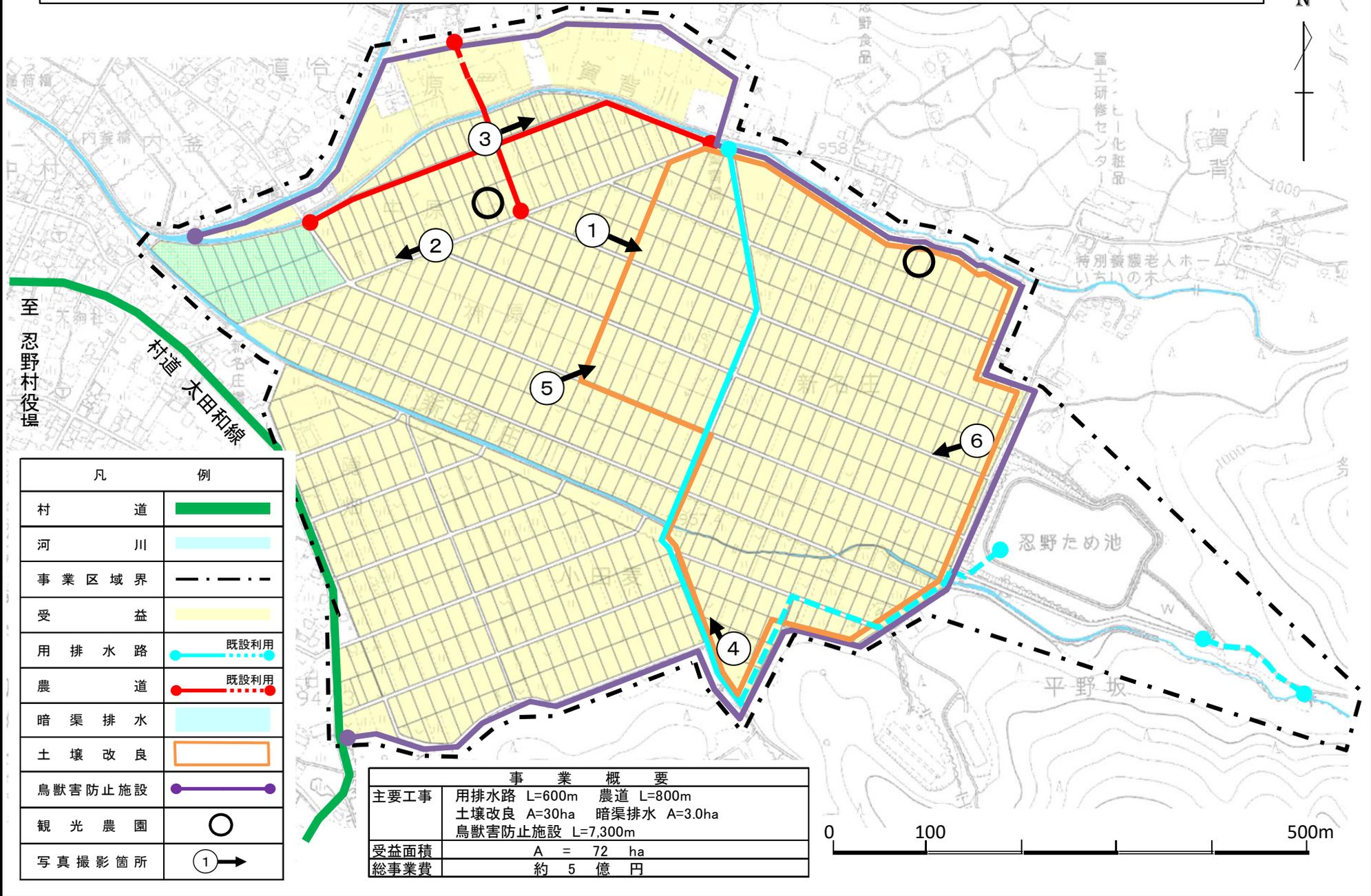


1. 事業説明シート

事業名	農地整備事業 [耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業 (国補)]	事業箇所	南都留郡忍野村内野	地区名	うちの内野	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																										
<p>①課題・背景</p> <p>本地区は忍野村の東部に位置し、水稻、露地野菜を主要作物としている冷涼な高原地帯である。</p> <p>しかし近年、地区内では農家の高齢化が進み、シカ、イノシシによる食害が増加していることから、営農条件の悪い水田や畑の一部では作付けされず草刈りなどの保全管理のみとなっている農地が発生しており、その面積は19%に及んでいる。</p> <p>一方で、地区内には「富士山やさい」を作り規模拡大を目指す農家や、地区外から参入を希望する意欲ある担い手も存在することから、本地域の農業を将来的に維持・発展させるうえでは、営農条件を改善することが重要となっている。</p> <p>このため農道や鳥獣害防止施設等の基盤整備により、営農環境の改善を行うとともに担い手への農地集積を進め、野菜の産地として更なる強化に取り組むものである。</p>				<p style="text-align: right;">妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・本地区の整備は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・土地改良法施行令第50条8項により県が事業主体となって行うべきである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>500 百万円</td> <td>工期</td> <td>R5 ~ R10</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>888 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1,380 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>427 百万円</td> <td>作物生産効果</td> <td colspan="2">829 百万円</td> </tr> <tr> <td>関連事業費等</td> <td>461 百万円</td> <td>国産農産物安定供給効果</td> <td colspan="2">244 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>走行経費節減効果</td> <td colspan="2">235 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">72 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.55</td> </tr> </table> <p>※その他は、品質向上効果、営農経費節減効果、維持管理費節減効果 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・地区内の営農条件改善に必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・耕作放棄地の発生防止対策として鳥獣害防止施設や農道などの整備を行うことで、営農条件が改善され、今後の地域農業の振興、農地の保全を図るために最も適した計画としている。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・農道工事では、土の切盛量を最低限に抑えるなど現状の地形に配慮した計画にする。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・本地区は、事業を進めるうえで地区内の連携や調整が重要であることから、「内野地区農業・農村振興協議会」が設立されるなど、事業を推進する体制が整っている。</p>				総事業費	500 百万円	工期	R5 ~ R10	基準年	R4	経済効率性	費用	888 百万円	便益	1,380 百万円		建設費	427 百万円	作物生産効果	829 百万円		関連事業費等	461 百万円	国産農産物安定供給効果	244 百万円				走行経費節減効果	235 百万円					その他※	72 百万円		B/C		1.55			
総事業費	500 百万円	工期	R5 ~ R10	基準年	R4																																									
経済効率性	費用	888 百万円	便益	1,380 百万円																																										
	建設費	427 百万円	作物生産効果	829 百万円																																										
	関連事業費等	461 百万円	国産農産物安定供給効果	244 百万円																																										
			走行経費節減効果	235 百万円																																										
			その他※	72 百万円																																										
B/C		1.55																																												
(2) 整備内容				総合評価																																										
<p>①整備内容 用排水路 L=600m 農道 L=800m 土壤改良 A=30ha 暗渠排水 A=3.0ha 鳥獣害防止施設 L=7,300m</p> <p>②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和10年度</p> <p>④総事業費 約500百万円 (国費250百万円(5/10)、県費137百万円(2.75/10)、 村費113百万円(2.25/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>測量及び設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>農道・暗渠排水</td> <td>80 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>農道・暗渠排水・用排水路</td> <td>100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>農道・鳥獣害防止施設</td> <td>100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>農道・鳥獣害防止施設</td> <td>100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>土壤改良・鳥獣害防止施設</td> <td>90 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>区画整理</td> <td>昭和33年~49年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農道 用水機場 農業用排水路</td> <td>平成3年~12年</td> <td>1,226 百万円</td> </tr> <tr> <td>農業用排水路</td> <td>平成17年~19年</td> <td>90 百万円</td> </tr> </table>				令和5年度	測量及び設計	30 百万円	令和6年度	農道・暗渠排水	80 百万円	令和7年度	農道・暗渠排水・用排水路	100 百万円	令和8年度	農道・鳥獣害防止施設	100 百万円	令和9年度	農道・鳥獣害防止施設	100 百万円	令和10年度	土壤改良・鳥獣害防止施設	90 百万円	区画整理	昭和33年~49年		農道 用水機場 農業用排水路	平成3年~12年	1,226 百万円	農業用排水路	平成17年~19年	90 百万円	<p>[貢献度ランク: a]</p>															
令和5年度	測量及び設計	30 百万円																																												
令和6年度	農道・暗渠排水	80 百万円																																												
令和7年度	農道・暗渠排水・用排水路	100 百万円																																												
令和8年度	農道・鳥獣害防止施設	100 百万円																																												
令和9年度	農道・鳥獣害防止施設	100 百万円																																												
令和10年度	土壤改良・鳥獣害防止施設	90 百万円																																												
区画整理	昭和33年~49年																																													
農道 用水機場 農業用排水路	平成3年~12年	1,226 百万円																																												
農業用排水路	平成17年~19年	90 百万円																																												
				<p>(4) 事業位置図等</p>  <p style="font-size: small;">地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>																																										

2. 添付資料シート (1)

農地整備事業〔耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業（国補）〕 ^{うちの}内野地区 一般計画平面図



凡	例
村道	
河川	
事業区域界	
受益	
用排水路	既設利用
農道	既設利用
暗渠排水	
土壤改良	
鳥獣害防止施設	
観光農園	
写真撮影箇所	

事業概要	
主要工事	用排水路 L=600m 農道 L=800m 土壤改良 A=30ha 暗渠排水 A=3.0ha 鳥獣害防止施設 L=7,300m
受益面積	A = 72 ha
総事業費	約 5 億円

2. 添付資料シート (2)



写真①
水稲に加え、スイートコーン等、野菜の生産が盛んに行われている。



写真②
地区内の農道は観光農園を訪れるバスや集出荷のトラックが往来している。



写真③
一部の農道では幅員が狭く、すれ違いが困難であり、通作や営農に支障をきたしている。



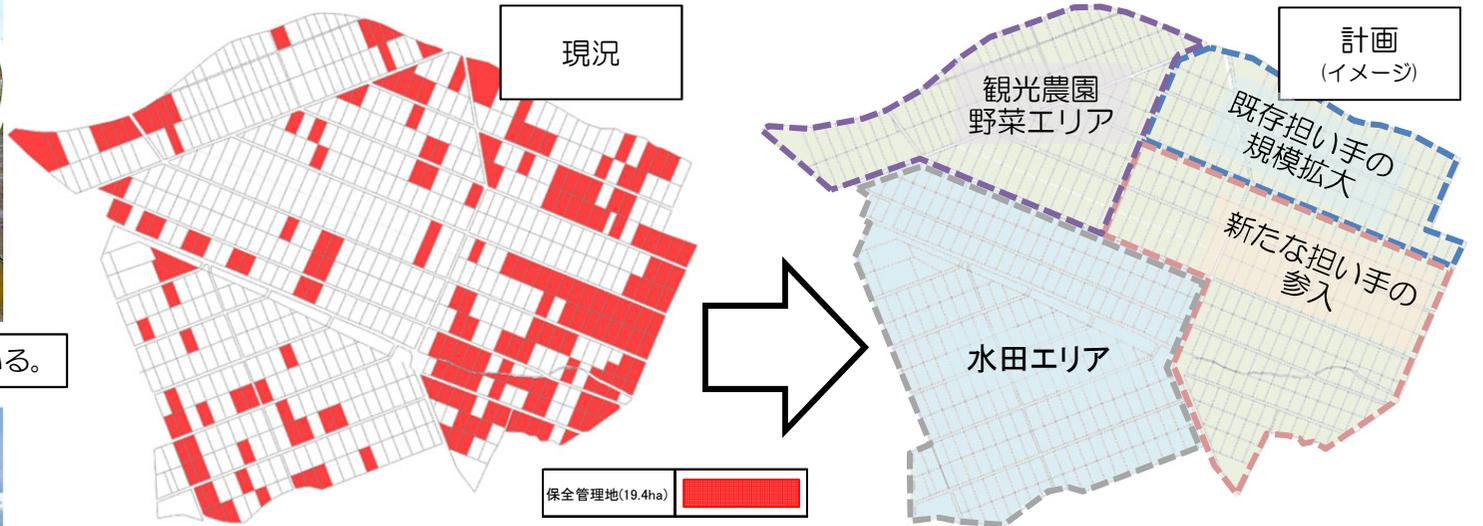
写真④
水路の損傷が激しく、漏水が生じている。



写真⑤
シカ、イノシシによる食害が生じている。



写真⑥
営農条件の悪い農地では、草刈りなどの保安全管理のみ行っている。



基盤整備を行うことにより営農環境の改善を行い、農地中間管理機構を通じた担い手への集積を円滑に実施する。

畑作エリアで生産された、スイートコーンをはじめとした野菜を地域振興の核として推進するため、生産者を支援する。



整備後のイメージ

